



現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。  
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

## 会長メッセージ

2017年より会長を引き継いでいます。シアトル稲門会では、新年会、夏のバーベキュー大会が主なる会合となっており、これまで校友同士の親睦の場として機能してきました。早稲田大学の一層の国際化路線に沿い、留学生会員を受け入れて、その後の生活支援を活動の一部とするほか、シアトルの名だたる企業の中核や周辺で活躍する若い人たちの情報交換

に役立ち、切磋琢磨できる場にしていきたいと思えます。また、新会員の発掘にも力を注ぐ必要があります。周囲にも「隠れた早稲田人」が存在しているのでは、と考えます。仕事、観光、その他でシアトルへいらっしゃる世界中の早稲田人は、ぜひご一報ください。

田島康文(1968年商学)

## 会員からのメッセージ

2018年6月、ワシントン大学での1年間の留学を目的にシアトルにきました。振り返ると、海外で初めての長期滞在であり、稲門会の皆さまから学ばせていただいたことは、大学での学びと同等か、もしくはそれ以上のものだと思います。稲門会メンバーそれぞれがユニークかつ貴重な経験や知識を持っておられ、交流を通じて自分の視野が広がり、知識・見識が豊かになっていくのを感じることができました。大学のクラスルームでは、個々の意見を尊重し、組み合わせ、そこから優れたアイデアが生まれるプロセスを目にして、創造力の源泉は多様性にあることを学びました。稲門会は、早稲田大学の同窓の集まりでありながら、この多様性に優れていると思えます。創造力が求められる現代において、稲門会はますます有意義なものになると想像しています。

矢野 諒(2011年社会学)

2018年3月より、企業派遣によるMBA取得のためワシントン大学で学んでいます。以前、韓国に駐在していた際には「ソウル稲門

会」の幹事長を務めていました。ソウルでの早稲田のつながりは強く、固く、世代や国籍を超えてたくさんの貴重な出会いがありました。アメリカの「都の西北」に来てからも、同じように校友の方々とお会いできる機会があれば「シアトル稲門会」に参加しました。おかげで多くの方にお会いでき、グランドキャニオンなどを早稲田の仲間とロードトリップする機会にも恵まれ、すてきな思い出を作ることができました。早稲田のネットワークが海外にも大きく広がっているというのは心強い限りです。早稲田の卒業生で良かった!

竹中伸一(2007年社会学)

シアトルに駐在員として派遣され、もうすぐ1年がたとうとしています。こちらは四季もあり、日本と同様に海産物も多く、生活の不便さはまったく感じません。仕事の面では、日本人比率が3割の環境ですので英語を多用しますが、徐々に慣れ、ビジネス会話も問題なく話せるようになってきました。また、シアトルは米国内でも親切かつ真面目な人が多い土地柄と聞いており、確かに仕事の面でストレスに感じるようなことは少ないです。皆、効率よく業務に集中し、夏休みはまとめて2週間取るなど、オンとオフがしっかりしている印象を受けます。お互いの文化の違いを受容し、尊敬し合う米国内で、少しでも多くのことを学び、社会に資する仕事に取り組んでいきたいと思えます。

渡辺正人(2009年法学)

## シアトル稲門会について

シアトル稲門会は1988年3月に設立されました。当時の早稲田大学ハイソサエティ・オーケストラの団員がアメリカ演奏旅行の途中



夏のバーベキュー大会

でシアトルを訪問した際に、当地の校友有志数人が急ぎよ委員会を結成し、歓迎会を催したことが始まりです。現在は30人以上が在籍し、新年会と夏のバーベキュー大会を定期会合としてしています。そのほかにも、会員らが自由に会食やキャンプなどを企画しており、最近ではセントラル・ワシントンやレーニア山でのハイキング、ベルフェアでのキャンプ旅行などに出席しました。そうした活動には、稲門会メンバーだけでなく、その家族や友人はもちろん、他大学出身者、留学生なども参加しています。フェイスブックでメッセージを受け付けているので、シアトルにお越しの際はぜひ気軽にコンタクトしてください。

## シアトルの魅力

トルは経済的にはいまだに成長過程であり、今後さらなる発展が期待されています。

山口大地(2008年理工、10年工研修)

海上から眺めるシアトルのダウンタウン(上)  
山頂付近は氷河に覆われているレーニア山(下)



シアトルには食べ物や音楽といったさまざまな魅力がありますが、特筆すべきは街を囲む大自然です。南にはアメリカ本土でも有数の標高を誇るレーニア山、西には世界遺産であるオリンピック国立公園が、北には世界でも屈指の積雪量を誇るペーカー山、そして東の中央ワシントンへ向かうと広大な砂漠と丘陵地帯が広がっています。キャンプや登山などはもちろんのこと、海に隣接している上に多数の湖が点在するためウオータースポーツもとても盛んです。シアトル在住7年目となりましたが、登山が趣味の私でさえ行ったことのないところ、やったことのないアクティビティがまだまだたくさんあります。

また、アマゾン、マイクロソフト、ボーイング、スターバックスといったグローバル企業が本社を構え、経済はシンガポールや香港とほぼ同水準であり、世界中からさまざまな人が集まっている国際的な街です。会社の中でも英語以外の言語が飛び交うのが日常となっています。シア

ワナッチー湖州立公園(左) 懇親会(右)

